

### 「貧困からの脱却」 3

#### クリスマスプレゼントはなかった ー子どもの貧困ー

「貧困」とは、どのようなものなのでしょう。これは、人によって考えも違いますし、国や地域によってもさまざまかもしれません。貧困についての代表的な考え方として「絶対的貧困」と「相対的貧困」があります。

「絶対的貧困」は、食べ物がない、家がないなど、生きるために必要なものがないような貧困のことを意味します。私たちが一般に「貧困」と聞いてイメージするのは、このような貧困です。

それに対して、ある社会で「普通」とされる生活をするのが難しいような状態を「相対的貧困」と呼びます。例えば、現代の日本で、習い事ができない、高校へ行けない、家族と旅行へ行けないという状態は相対的貧困と言えるでしょう。日本の子どもの貧困率(2015年)は13.9%、さらにひとり親家庭の子どもの貧困率は50.8%と先進国のなかでも最も低いとされています。つまり、相対的貧困という点から見れば日本の7人に一人の子どもが、「貧困」の状況です。以下は、高校生になった子どもたちが話してくれた状況です。

ヒロシ「クリスマスプレゼントはなかった。ケーキは食べた。次の日友達が、昨日プレゼントが枕のそばにあったって話を聞いて、ふーんそうなんだって。親には言わなかった。」

トモユキ「習い事は一切していない。だから学校の授業の水泳とか、苦勞しました。近所の子でスイミングスクールとか、習字とかやってる子がいて、いいなって。親に行きたいと言ったことはあるけど無理って言われました。」

ナナ「友達に家にやっぱり連れて来たくない。普通の生活レベルじゃないでしょ。恥ずかしいからやだ。家を出て学校へ行けば普通なんだと思う。別に外に出ればバレないみたいな。」

レイコ「夢を持たなくなったのは中学生の頃。普通に生きればいいかなって。とりあえず早く仕事したいなってのがあった。他の人の夢とか聞いても、ああそうかくらいで何も思わなかった。」

見た目は「普通」に見える子どもが多く、本当はどのような状況なのか知るのが難しいとされていますが、経済的な理由で十分な教育が受けられない、それによって学校や仕事が自由に選べなくなり、将来に夢を持たなくなってしまっている子どもたちが今、増えています。

このような状況を変えようと、「無料塾」や「子ども食堂」といった試みが行われています。例えば、「無料塾」は、子どもに無料で勉強を教えることで、教育の格差をなくし、親から子へまたその子どもへという「貧困の連鎖」を止めようとするものです。



無料塾



子ども食堂

また、「子ども食堂」では、十分に食事ができない子どもたちに、無料で食事を出し、幸せな時間や地域とのつながりを作ろうとしています。これらの試みは、NPO（Nonprofit Organization：利益のためではなく社会問題の解決のための団体）が中心となって、大学生やその地域に住んでいる人々がボランティ

アで手伝っている場合が多いようです。

あなたの住んでいる町でも、貧困をなくすためにさまざまな活動がされているかもしれません。調べてみてはいかがでしょう。

(1217 字)

(2020.12 Written by Yukiko OKUNO)

(All pictures are drawn by Hinako Fujimura)

<参考資料>

- ・「厚生労働省」ウェブサイト「平成 28 年 国民生活基礎調査の概況」  
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa16/dl/16.pdf>
- ・「日本子ども支援協会」ウェブサイト  
[https://npojcsa.com/jp\\_children/poverty.html](https://npojcsa.com/jp_children/poverty.html)
- ・阿部彩 (2008) 『子どもの貧困』岩波新書
- ・阿部彩 (2014) 『子どもの貧困Ⅱ』岩波新書
- ・大澤真平 (2008) 「子どもの経験の不平等」『教育福祉研究』, 14, 1-13.

(2021.1.28 ウェブサイト確認)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.